

## 記載上の注意事項

### (1) 履歴書（別紙様式1）

- ①学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記入し、卒業、修了、中途退学について明記すること。
- ②学位名欄には、授与された大学名を（ ）書きで併記すること。
- ③職歴欄には、所属講座や部署名等を記入し、退職、転勤、昇任について明記すること。
- ④加入学会欄には、学会名および役職名を記入すること。
- ⑤記載内容を確認し、自筆署名をすること。

### (2) 業績目録

A4判の用紙に以下の順序で記入すること。なお、業績は年代順に記載し、各区分ごとに番号付すこと。

#### ①学術論文、症例報告、総説

次に掲げる区分により、英(欧)文論文、邦文論文の順で記載すること。

- (i) 学術論文：年代順に、番号、著者全員の氏名（英文の場合は、名はイニシャル）、論文タイトル名、雑誌名、発行年(西暦)、巻、ページ(始めと終わり)の順で記載し、本人の名前にアンダーラインを引き、corresponding authorに\*印を付すこと。掲載前の論文については、掲載証明のあるものを除き記載しないこと。なお、掲載証明を添付すること。オンラインでのみ公表されている場合は、URLアドレスを記載すること。

#### 【記載例】

1. Jurassic MM, Gibson G\*, Orner MB, Wehler CJ, Jones JA, Cabral HJ. Topical fluoride effectiveness in high caries risk adults. J Dent Res. 2022;101:898-904.

- (ii) 症例報告：前記の「学術論文」に準じて記載すること。
- (iii) 総説：前記の「学術論文」に準じて記載すること。

#### ②著書

- (i) 編集書の場合：編者名、発行年（西暦）、書名、出版社名、発行地、総ページ数を記載すること。
- (ii) 単行本への寄稿論文の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。
- (iii) 単行本として発刊された抄録集(proceedings)の場合：執筆者名、発行年（西暦）、論文タイトル名、著書名（編者名）、出版社名、発行地、記載ページ（始めと終わり）を記載すること。

#### ③翻訳書

前記の「著書」に準じて記載のこと。ただし、原著の書名、著者名、出版社名、発行地も併記すること。

なお、①学術論文、症例報告、総説の英(欧)文論文については、Impact Factor (IF)、被引用回数 (Citations: CI)等の集計のため、別紙様式2-1、2-2、2-3にもそれぞれ記入すること。その際、2024年度版のIF(小数点以下第1位まで)、CIを記載すること。CIについてはWeb of Scienceより抽出したものとする。

(3) 学会発表目録

A4判の用紙に過去10年間（2015年7月～2025年6月）のものを、招待発表（特別講演、シンポジウム報告等）と一般発表に分け記載すること。それぞれ年代順に通し番号を付け、発表者全員の氏名（英文の場合、名はイニシャル）、発表タイトル、学会名、発表年月日、開催地名を記載し、本人の名前にアンダーラインを引くこと。なお、一般発表については国際学会での発表のみ記載すること。

(4) 主要学術論文10編の別刷（各6部、コピー可）

業績目録中の主要学術論文10編の番号に○印を付し、その別刷各6部（コピー可）を添付すること。

(5) 現在までの主な研究、教育、および臨床の内容

A4判の用紙に、3,000字程度に要約し、学位指導の実績等も具体的に記載すること。

(6) 全身麻酔、静脈内鎮静症例の一覧

直近3年（2022年7月～2025年6月）に担当あるいは指導した全身麻酔、静脈内麻酔症例の一覧を作成すること。記載形式は自由とするが、年月日、性別、年齢、手術名、管理時間、関与（担当、指導の別）、実施施設をそれぞれ記載すること。

(7) 代表的な臨床症例10例

直近3年（2022年7月～2025年6月）に当該領域で専門診療を行った症例についての報告を10症例作成すること。記載形式は自由とするが、画像資料等を含め1症例A4用紙1枚以内に収めること。なお、症例の多様性に配慮すること。なお、症例の多様性に配慮すること。

(8) 研究、教育（学部および大学院教育）、臨床および教室運営に対する抱負

A4判の用紙に、3,000字程度に要約し、記載すること。特に、医学部附属病院とどのように連携し、医療安全の確保に資するか、今までの実績に基づき記載すること。また、教室運営については教室員の確保に関する施策を記載すること。

(9) 科学研究費補助金・各種研究助成金等外部資金の獲得・受領状況（別紙様式3）

①過去10年間（2015年4月～2025年3月）の獲得状況を直接経費、間接経費に分け記載すること。

②分担者としての助成金については、分担者として助成金を単独で直接受領した場合のみ記載し、その分担金額を記載すること。

(10) 発表論文、外部資金獲得状況（別紙様式4）

①現在までに発表した論文、獲得した外部資金について記載すること。

②h-indexについては、Scopus、Google Scholar、ResearchGateで示されるh-indexの数値は用いず、Web of Scienceの被引用数(CI)を基に算出された数値を用いてください。

(11) 特許等の取得および出願状況

(12) 関連する資格（歯科医師免許、医師免許、認定医、専門医、指導医など）の証書の写し

(13) 推薦者のある場合は、その推薦状（ただし推薦者は個人に限る）

### その他の留意事項

※ 選考過程中に応募を取り下げる場合には、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。

（問い合わせ先）

大阪大学歯学研究科総務課人事係

TEL: 06-6879-2833

E-mail: si-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp